



私の少女時代 大学女子バレー界で強豪としての名を削る勇者（！）たちにも幼いころがあった。バレー少女の思い出とイマ。



姉妹でバレー女子 ビーチバレーをしていた母の横で遊んでいたが、監督に誘われたのが桑村望（こどもコミュニケーション2年、富山第一高）のバレーボールとの出会いだった。一つ下の妹とプレーするバレーが大好き。姉妹が写るショットは桑村（右）が小3の時のもの。現在はバレーとしてチームに貢献しているが当時はスパイクが持ち味だった。



幼いころからバレー漬け 写真は小6の全国大会に臨む今井優菜（こどもコミュニケーション2年、千葉・市立柏高）。笑顔が印象的だが、実は相手に決められて苦笑いしたところだ。ボーイッシュな短髪にしたのは4年生の時。当時は週7日バレーボールで「遊ぶ時間がないくらいバレーをしていた」と振り返る。



「バレー」から「バレー」 マネジャーの高橋夏乃（マス・コミュニケーション3年、埼玉・春日部共栄高）は母の勧めで3歳からバレーを始めた。しかしバレーボールをしていた姉の送り迎えについていくうちに興味は「バレー」から「バレー」へ。「どうしてもバレーボールをやりたい」と母に懇願し、小学1年からバレーボールを始めた。



勇ましいけど泣き虫!? 幼稚園の運動会に臨む高木愛（こどもコミュニケーション3年、東京・駿台学園高）が、ねじり鉢巻にはっぱ姿で勇ましいのは、太鼓を披露したからだ。小学3年でバレー少女に。当時は監督にしかられて泣いていたというが、今は毅然とコートに立つ。ただし「映画とか見ると泣いてしまう」と泣き虫は直っていない？

20年は持ち味「堅守」と強力アタックで勝負

丸山哲平監督が「チームの一体感がすごく高まった最後だった」と振り返り、選手もチームが変わったと口をそろえるのが、2019年10月27日に行われたリーグ最終戦。負ければ3部との入れ替え戦に回り、勝てば2部残留となる一戦の相手は9月に敗れていた敬愛大だった。最終戦は、第1セットを失ったがそこから26-24、26-24と2セット連続でデュースをものにして第4セットを迎えた。このセットも互いに譲らない戦いとなり、最後は27-25で江戸川大学が取った。前回対戦で得た反省点を基にブロックやアタックを鋭く直した攻め抜いての勝利だった。入れ替え戦がらについて、これまでになく重圧の下で試合前の1週間を過ごしたが、試合を迎えてチームが変わった。持ち味の堅守に加え、強力アタックが出た。将来につながる一戦となった。2019年まで指揮を執った伊藤博義アドバイザーは「よく乗り切れたと思う。あの試合で技術的にも精神的にも強くなったことは間違いない」と変化を感じている。「負けたら逃げ腰の人間ができてしまう。勝ったことで少しは誇りに思えるようになったと感じている」というほどの分岐点だった。入れ替え戦を免れた1勝は、インカレ出場を決めた勝利でもあった。4年生をまだアレイさせたいという下級生の思いと、それに応える上級生のリーダーシップが結実した。2020年はその思いを引き継ぎ、1部昇格を目指す。得意とする「拾うバレー」に、秋の最終戦で見たアグレッシブな攻撃力をプラスできるか。丸山監督は「リーグ戦の9試合目、10試合目に自分を追い込むのではなく、1試合目から追い込む」と勝負の年へ号令をかける。

昇格攻める

最終戦収獲の雪辱

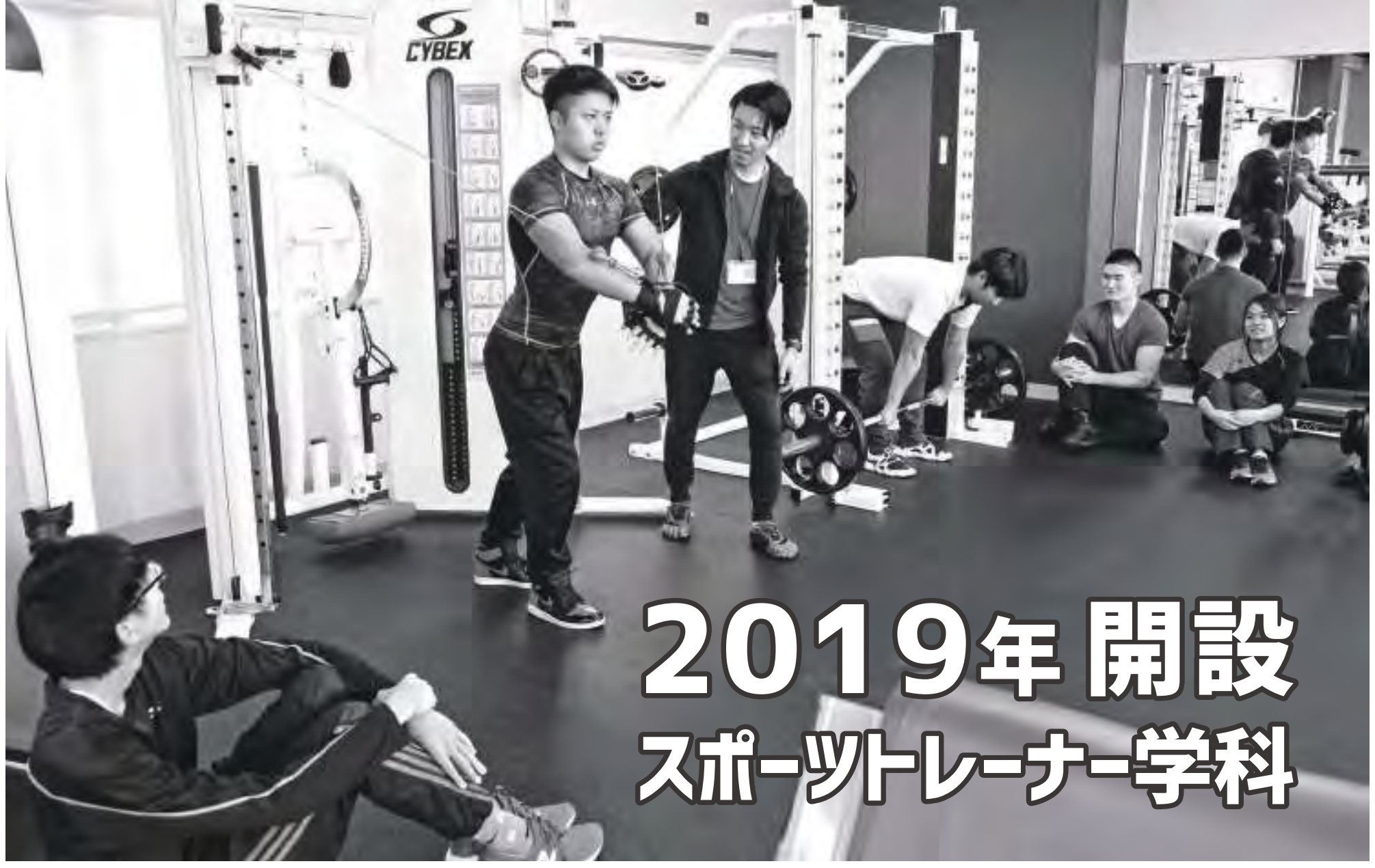
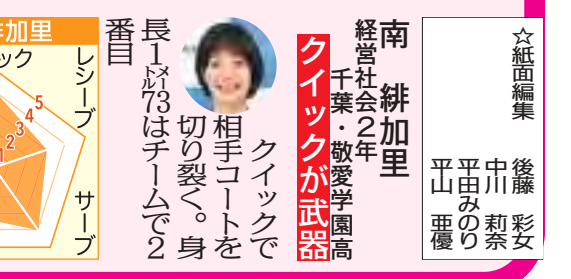
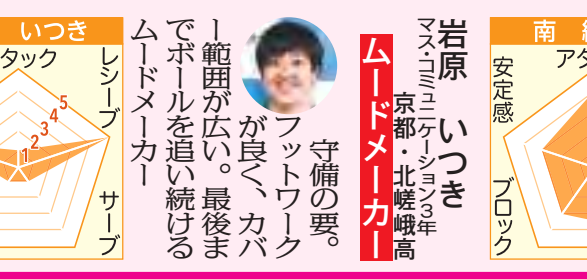
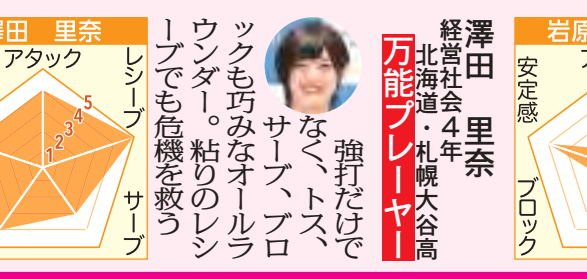
江戸川大 女子バレーボール部は2019年の関東大学女子秋季リーグで6位に終わった。2部優勝を目標に臨んでいたが、悔しい結果ではあるが、選手は誇りに思っているという。苦しいシーズンを戦い抜いてチームが一皮むけたと感じているから。秋につかんだ手ごたえを生かし、2020年は1部昇格の花を咲かせる。

主力選手分析

江戸川大学女子バレーボール部は関東リーグに参戦した2014年以来、伊藤博義監督の下で「粘り強いレシーブからのコンビバ

レー」を徹底し、8部から2部まで駆け上がった。2部の他大学と比べて平均身長は決して高くないが、それを補うレシーブ力や攻撃力、攻撃力の充実も期待できる。鍵を握るプレーヤーたちを5項目グラフで分析する。

コートに立つプレーヤーだけでなく、2019年秋のリーグ戦ではベスト・オブ・サポート賞でチーム全体が評価された。ベンチのサポート、客席からの声援も江戸川大学の持ち味だ。



福祉の プロになる。

- 介護福祉学科
- こども福祉学科
- 心理・社会福祉学科
- スポーツトレーナー学科
- 社会福祉士養成学科（通信課程）

EDOSEN

学校法人 江戸川学園
江戸川学園おおたかの森専門学校

0120-538-505
TEL 04-7153-8500(入試課) | FAX 04-7153-8501
E-mail fukushi@edogawa-u.ac.jp(入試課)
千葉県流山市駒木 474
http://www.edosen.jp

2019年開設 スポーツトレーナー学科